明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

令 和 ８ 年 １１ 月 ９ 日
にぎわいスポーツ文化局
文化芸術創造都市推進部

第75回（令和８年度）横浜文化賞贈呈式を開催します

横浜市の最高顕彰である横浜文化賞の贈呈式・記念コンサートを開催します。
是非、ご取材くださいますようお願いします。

１ 日時・場所

令和８年 11 月 19 日（木） 開式 11 時（開場 10 時 30 分　閉式予定 12 時）
横浜みなとみらいホール 小ホール（横浜市西区みなとみらい２－３－６）

２ 式次第（予定）

・開式
・受賞者紹介、賞贈呈
・受賞者挨拶（受賞者全員が 1 分程度スピーチを行います）
・主催者挨拶
・来賓祝辞
・閉式
・記念写真撮影
・記念コンサート（12時20分-12時50分）（出演 山根 一仁（ヴァイオリン））

横浜文化賞　受賞者　（50 音順・敬称略、年齢は11月19日時点）

分 野	氏 名	年 齢	職 業 等
芸 術	乾 久美子	57 歳	建築家、乾久美子建築設計事務所代表、横浜国立大学大学院 Y-GSA 教授
文 学	角田 光代	59 歳	作家
芸 術	竹中 直人	70 歳	俳優
スポーツ振興	中村 俊輔	48 歳	サッカー指導者、元プロサッカー選手

横浜文化賞　奨励賞 受賞者　（50 音順・敬称略、年齢は11月19日時点）

分 野	氏 名	年 齢	職 業 等
芸 術	鎌田 友介	42 歳	美術家
芸 術	桑原 志織	31 歳	ピアニスト

裏面あり

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

3 報道受付

ホール 1 階の「報道受付」へお越しください。（10 時 15 分報道受付開始）

※報道機関向けの座席をご用意しています。

記念コンサートについては、希望される場合に鑑賞は可能ですが、撮影はできません。

※取材をご希望の場合は、11 月 17 日（火）17 時までにメール本文に別紙取材申込書に記載の項目を記入のうえご連絡いただくか、別紙取材申込書を記入のうえお申込みください。

お問合せ先
文化振興課長　森兼　Tel 045-671-3703

別 紙

横浜文化賞

受賞者プロフィール
（50 音順・敬称略）

○ 乾（いぬい） 久美子（くみこ）　建築家、乾久美子建築設計事務所代表、横浜国立大学大学院 Y-GSA 教授



2000 年に自身の建築設計事務所を設立して以来、国内外で活躍している建築家。ベネチア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞や日本建築学会賞（作品）など多数受賞している。

2025 年にリニューアルオープンした横浜美術館では、無料エリア「じゆうエリア」の空間構築・サイン計画を手掛け、誰にとっても居心地の良い空間へと再生し、既存建築を尊重しながら新たな魅力を引き出すデザインで注目を集めた。

2016 年より、横浜国立大学都市イノベーション学府・研究院建築都市デザインコース（Y-GSA）にて教授を務め、横浜で建築を学ぶ学生たちの指導と人材育成に尽力している。

○ 角田（かくた） 光代（みつよ）　作家

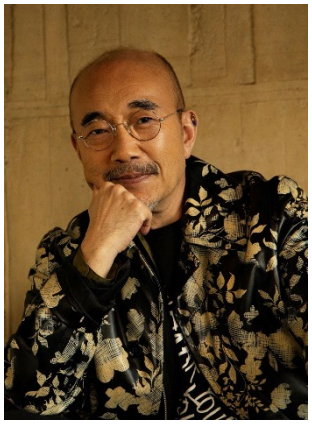


横浜市出身の作家。1990 年「幸福な遊戯」で海燕新人文学賞を受賞しデビュー。2005 年に「対岸の彼女」で直木賞を受賞し、2025 年には「方舟を燃やす」で第 59 回吉川英治文学賞を受賞するなど、現代社会における人間の孤独や葛藤を繊細に描く作品で現代日本文学を代表する存在として高い評価を得ている。映画・ドラマ化された作品も多い。

そのほか児童文学、エッセイ、翻訳など幅広く創作を展開しており、2021 年には「源氏物語」訳で読売文学賞を受賞した。長年にわたり第一線で創作を重ね、その作品群は世代・性別・国境を超えて広く読まれ、日本文化の海外発信に貢献している。

©森清

○ 竹中（たけなか） 直人（なおと）　俳優



横浜市出身の俳優。1991 年、初監督作「無能の人」でヴェネツィア国際映画祭国際批評家連盟賞を受賞と共に第 42 回芸術選奨文部大臣新人賞及び第 15 回日本アカデミー賞優秀主演男優賞を受賞。2025 年には主演舞台で紀伊國屋演劇賞受賞。1996 年、大河ドラマ「秀吉」で豊臣秀吉を演じ話題に。映画・テレビドラマ・舞台・CM など多方面にわたり第一線で活躍し、数多くの受賞歴を持つ。

地元横浜との関わりも強く、2023 年の第 1 回横浜国際映画祭でアンバサダーを務めたほか、横浜市制作の短編ドラマで主演を務め、人生の最終段階を考え、希望する医療・ケアについて家族や大切な人と話し合う『人生会議』の啓発に貢献した。

○ 中村（なかむら） 俊輔（しゅんすけ） サッカー指導者、元プロサッカー選手



横浜深園 SC でサッカーを始め、中学時代は日産 FC ジュニアユースでプレー。桐光学園高校卒業後の 1997 年に横浜マリノスへ加入し、J リーグ最優秀選手賞やベストイレブンなどを受賞。イタリア、スコットランド、スペインの各クラブでも活躍し、UEFA チャンピオンズリーグではマンチェスター・ユナイテッド戦で２度の直接 FK を決めるなど、欧州の舞台でも実力を発揮した。日本代表としても長年チームを牽引し、2010 年に横浜 F・マリノスへ復帰。ジュビロ磐田でのプレーを経て、2019 年に横浜 FC へ移籍し、2022 年に現役を引退。現在は日本サッカー協会のナショナルコーチングスタッフとして後進の育成に尽力している。

横浜文化賞 奨励賞

受賞者プロフィール
（50 音順・敬称略）

○ 鎌田（かまた） 友介（ゆうすけ） 美術家



横浜市出身の美術家。美術と建築を横断する実践を国内外で展開している。東京藝術大学大学院修了後も横浜を拠点に活動し、「ハンマーヘッドスタジオ新・港区」や「旧劇場」を制作拠点として地域に開かれた活動を続け、三溪園や BankART Studio NYK、黄金町バザール、エリスマン邸、横浜市民ギャラリーなどで作品を発表してきた。

近年は原三溪に関するリサーチと制作に取り組み、その成果を横浜美術館で発表。韓国、台湾、アメリカ、ブラジルなどを舞台とした日本家屋の調査研究にも取り組み、美術と建築をめぐる独自の表現で注目を集めており、今後のさらなる飛躍が期待されている。

○ 桑原（くわはら） 志織（しおり） ピアニスト



ショパン国際ピアノコンクール第４位入賞をはじめ、数々の国際コンクールで優れた成績を収め、国内外で高い評価を受けているピアニスト。東京藝術大学を首席で卒業後、ベルリン芸術大学大学院を最優秀で修了した。ブゾーニ国際ピアノコンクールやルービンシュタイン国際ピアノマスターコンクールでも日本人史上最高位を獲得。

2021 年の横浜市招待国際ピアノ演奏会への出演を機に横浜との関わりを深め、その後も横浜みなとみらいホール事業や金沢区音楽振興事業などに出演している。豊かな音楽性と確かな技巧を備えた若手演奏家として、今後のさらなる活躍が期待されている。

©木村直軌

別　紙

【令和８年 11 月 17 日（火）17 時締切】
第 75 回（令和８年度）横浜文化賞贈呈式取材申込書
ＦＡＸ　０４５－６６３－５６０６（にぎわいスポーツ文化局文化振興課 行）
メール　nw-bunkasyo@city.yokohama.lg.jp

貴社名（部署名）	
ご担当者	
当日の取材人数	人
撮影	□スチール（　　台）□ムービー（　　台）
ご連絡先	電話　　（　　） 携帯電話（当日連絡先） （　　）
	ＦＡＸ　　（　　）
	メールアドレス
放送・発行予定日	月　日（媒体　　）／ 未定
備考	

【留意事項】

1　受賞者への個別の取材（撮影）は、スケジュールの関係でご遠慮いただいております。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

2　贈呈式当日は、横浜みなとみらいホール１階の「受付」までお越しください。
10 時 15 分から報道受付を開始します。

3　受付で名刺を頂戴します。また贈呈式会場では腕章の着用をお願いします。

4　**閉式後に全体撮影の時間があります。**
贈呈式中の写真撮影は報道関係者席で着座のままお願いします（フラッシュ不可）。

5　贈呈式のみ報道機関向けの座席をご用意しています。（贈呈式に続いて記念コンサートを開催します。コンサートは鑑賞いただけますが、撮影いただけません。）

6　三脚を使用しての写真撮影、ムービー撮影の場合は客席後方エリアでの撮影となります。なお、ムービー撮影の音声ラインは設備がございません。

7　専用駐車場はございませんので、予めご了承ください。

8　受賞者本人のご都合により、出席が代理となる場合があります。ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。